

彙 報

昭和61年度倫理学講座講義題目

講 義	助教授	西 谷 裕 作	「倫理学概論」
研 究	教養部 教 授	竹 市 明 弘	「日常性と超越」
”	教養部 助教授	有 福 孝 岳	「東洋思想と西洋哲学」
”	講 師	池 上 哲 司	「自己と他者」
演習 I	助教授	西 谷 裕 作	「倫理学の諸問題」
” II	助教授	西 谷 裕 作	「J. Locke: An Essay concerning Human Understanding」
演 習	教養部 教 授	山 本 誠 作	「A. N. Whitehead: Process and Reality」
”	教養部 教 授	磯 江 景 孜	「I. Kant: Grundlegung zur Metaphysik der Sitten」
”	講 師	深 谷 昭 三	「M. Scheler: Wesen und Formen der Sympathie」
講 読	助教授	西 谷 裕 作	「G. Marcel: Homo Viator」
”	講 師	榊 形 公 也	「S. Kierkegaard: Die Krankheit zum Tode」
”	講 師	小 池 澄 夫	「Platon: Apologia Socratis」

BIBLIOGRAPHY

1985年度倫理学教室入庫図書

Baumgartner, H. M.; *Kants "Kritik der reinen Vernunft"*

Blumenberg, H.; *Lebenszeit und Weltzeit*

Coenen, H.; *Diesseits von subjektivem Sinn und kollektivem Zwang*

Grene, M.; *Descartes*

G. Prauss (hrsg.); *Handlungstheorie und Transzendentalphilosophie*

Hegel-Studien. Bd. 20

Kierkegaard, S.; *Kleine Aufsätze 1842-51*

Kierkegaard, S.; *Soren Kierkegaard's Journals and Papers, Vol. 1-7*

Korff, W.; *Norm und Sittlichkeit*

Mates, B.; *The Philosophy of Leibniz*

Merleau-Ponty, M.; *Das Sichtbare und das Unsichtbare, Bd. 13*

Métraux et al. (hrsg.); *Leibhaftige Vernunft, Bd. 15*

Minson, J.; *Genealogies of Morals*

Natoli, C. M.; *Nietzsche and Pascal on Christianity*

Okruhlik et al. (ed.); *The Natural Philosophy of Leibniz*

Perrin, J. -M.; *Mon dialogue avec Simone Weil*

Phänomenologische Forschungen, Bd. 17

Plourde, S.; *Vocabulaire philosophique de Gabriel Marcel*

Schütz, A. & Gurwitsch, A.; *Briefwechsel, 1939-1959*

Siebert, R. J.; *The Critical Theory of Religion, the Frankfurt School*

Skinner, Q.; *The return of grand theory in the human sciences*

Archiv für Rechts- und Sozialphilosophie, Vol. 71 (1985)

Ethics, Vol. 95 (1985)

Logique et analyse, Vol. 26 (1983)

Pacific philosophical quarterly, Vol. 65 (1984)

Philosophische Rundschau, Vol. 32 (1985)

Revue de métaphysique et de morale, Vol. 90 (1985)

Thought, Vol. 60 (1985)

トマス・アクィナス 「神学大全」18, 第II-2部

新渡戸稻造全集 第18, 19, 20, 21, 22卷

正宗白鳥全集 第13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 24, 26, 29卷

実践哲学研究 第8号

倫理学年報 (1985)

発行 実践哲学研究会
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部倫理学研究室内
郵便振替 京都 2—27560

発行日
昭和61年10月1日

事務局
京都大学大学院文学研究科哲学（倫理学）
大学院学生共同研究室

代表
西谷裕作

趣 旨

1. 実践哲学を再び哲学の主要テーマとして取り上げようという動向が近年顕著になりつつある。かかる思潮を鑑み、本会はここに『実践哲学研究』を発行する。
2. 実践哲学研究といってもその対象とする領域は広大多岐ではあるが、われわれ（京都大学倫理学科大学院生）は自らの研究を公けにすることによってそれぞれの領域から公正なる批判と判断をあおぎ、各自の問題意識を深めると同時に相互の交流を計ることを目的とする。

後 記

1. 本誌もここに第9号刊行をむかえました。これもひとえに皆様方の貴重な御意見、御批評と暖かい御援助の賜物と感謝いたしております。今後ともよろしく御指導の程御願いたします。
1. 本会は、機関誌発行のほか各種研究会を催しております。本年度は、I. Kant; Erste Einleitung in die Kritik der Urteilkraft の輪読会を行っております。
1. 第9号発表論文の合評会を下記の要領で催しますので、御参加いただければ幸いです。

日 時 12月14日（日） 午後1時

場 所 楽友会館

1. 三年前設けました賛助会員制度に、多数の方々の御協力をいただき、誠にありがとうございました。当会では、さらに多くの方々に賛助会員になっていただけますよう、会誌の充実をはじめ、なお一層努力いたす所存でございますので、御支援の程よろしく御願いたします。賛助会員の皆様には会誌一部を送らせていただきます。なお賛助会員費は年一口千円で御願いたします。

ISSN 0287—6582

实践哲学研究

第 9 号

京都大学文学部倫理学研究室内
实践哲学研究会

实践哲学研究

第 9 号

目 次

近代自然法思想における「社会」と「自由」

——Th. ホッブズの場合——

.....平 石 隆 敏… 1 頁

物, 時間, 場所の同, 及び, 異に関する諸規則

——事件の可能性の源泉について——

(1)

.....前 田 義 郎… 21 頁

「探求の目的」と規範学

——C. S. パースにおけるプラグマティズムの一帰結——

.....渡 辺 啓 真… 45 頁

彙 報 62 頁

Bibliography 63 頁

後 記